

学校生活における歯・口の外傷の防止と安全な環境づくり

(縦割り班安全点検)

○対象学年 全学年

○実践のねらい

- ・児童自身で学校設備を点検することにより、児童の安全意識の高揚を図る。
- ・児童の視点による危険個所を発見し、より安全な環境を整備する。
- ・KYT活動の視点を理解し、将来にわたって健康で安全な生活の実現に向けた基礎的生活習慣を育てる。
- ・複数学年で活動することにより、異学年交流を図る。

○実践後の児童の変容や感想、現状など

【良かった点】

- ・高学年が中心となり、点検ができた。下級生へ声掛けができていた。リーダーを中心とした事前打ち合わせが良かった。
- ・リーダー・サブリーダーがしっかり活動できていた班が多かった。
- ・みんなで点検したので、壊れている箇所を見つけたら報告し合うことができ、教師と高学年児童で、すぐに修理を行うこともできた。(飼育小屋の柵のはずれを修理)
高学年児童は、教師の補助に入り修繕をすることができた。
- ・低学年も点検のポイントを理解し、上級生と気になるところを見つけることができた。
- ・リーダーの中には、下級生に説明、点検をするうえで、普段より責任ある行動がとれた児童の姿が見られた。

【改善する点】

- ・「窓の開閉がスムーズではない。」「ねじがとれている。」等の箇所は、今後も修繕が難しい。「気を付けよう！」シール等を貼る工夫はどうか？
- ・点検・反省に時間がかかった班も見られた。ガイダンス等の為か？2回目以降は、時間内に活動できるのではないか。
- ・点検後のリーダー等の簡単な反省があると、次時の活動がよりよくなるのではないか。

【今後の活動】

- ・中央委員会、健康委員会が点検結果を全校に知らせる。
- ・環境研究部が、安全点検結果・状況等の掲示物を作成する。
- ・次回、12月の点検は、縦割り班担当者が担当する。

【屋外】



【体育館】



【室内】

